

令和2年度アライグマ調査について

アライグマの生息状況等を把握し被害を予防するため、下記のとおり捕獲調査を実施しました。

1 捕獲調査

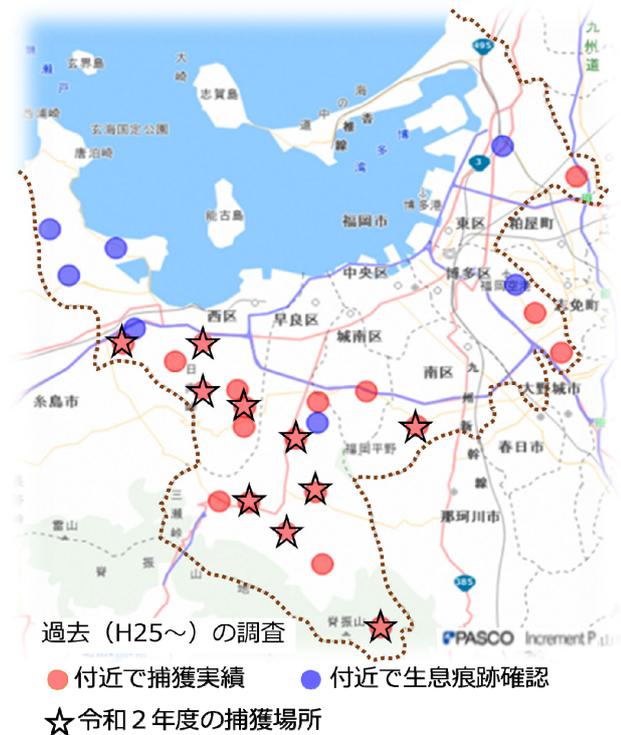
平成30年度及び令和元年度の調査（アライグマに関する調査）において、アライグマの生息が確認された地区を中心に箱わなを設置し、調査を実施した。

○調査時期：令和2年5月1日～7月31日

○調査方法：箱わなを用いて生息調査を実施。誘因の餌はコーン菓子などを用いた。

○調査結果：南区柏原、早良区脇山、板屋、曲渕、入部、石釜、西区今宿、金武、羽根戸、飯氏にて合計38頭を捕獲した。

地区名	総数	雄	雌(授乳痕)	幼獣
東区 蒲田	0			
博多区 金隈	0			
博多区 月隈	0			
南区 柏原	1	1		
城南区 南片江	0			
早良区 脇山	9	5	3(0)	1
早良区 板屋	2	1		1
早良区 椎原	0			
早良区 曲渕	2	1	1(1)	
早良区 入部	4	4		
早良区 石釜	2	1	1(1)	
早良区 梅林	0			
西区 今宿	6	3	3(1)	
西区 金武	9	2	3(3)	4
西区 羽根戸	1		1(1)	
西区 吉武	0			
西区 飯氏	2	2		
西区 女原	0			
合計	38	20	12(7)	6



2 対応及び今後の予定

アライグマの確認情報について広く周知に努めるとともに、生息状況の把握を行う。